

事業所における自己評価結果 (公表)

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	②	職員の配置数は適切である	5				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		2	全体的にフラットにしている ベビーゲートで子どもが飛び出し、侵入しないよう設置しているが、足をひっかけてしまうため、クッション材を置いて危険を回避している。	トイレが大人用しかないので、今後スペースの確保と改善に向けてできることをかんがえていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		1		2023年1月より全体で参画できる時間を設けている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		2		開所初年度のため、今回の評価を次年度につなげていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1		4		開所初年度のため、今回の評価をホームページに公開予定である。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	3		開所初年度のため、今回の評価を次年度につなげていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1		
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		1		
	⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		1		
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	1		4		
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		2		
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	⑲	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5				
関係機関 や保護者との 連携関係 や保護者との 連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		1		
	㉒	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3		2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		1	4		体制を整えるために研修を受けていく
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2		3		体制を整えるために研修を受けていく
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		4		初年度のため、次年度に向けて体制を整えていく。

	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5				初年度のため、次年度に向けて体制を整えていく。
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3		実現に向けて各種機関と連携を図り、活動する機会を設ける。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	1	3		初年度のため機会がなかったが、次年度は積極的に参加していきたい。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		1		
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	2		実現に向けて、研修に参加予定である。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	1	療育終了後に15分間保護者様と個室で療育内容のフィードバックにあわせて、日々の様子や困りごとを聞くようにしている。	
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			5		初年度のため、計画できなかったが次年度は実現に向けて計画中である。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		1		
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	HP・ブログ・SNSを通して新着情報や日々の日常等を情報発信している。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意している	5				
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		1		
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3		初年度のため、計画できなかったが次年度は実現に向けて計画中である。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1			
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	3	1	1	防災訓練の年間計画をたて、事業所内で訓練を行っている。	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1		事業所内で食べ物を食べる機会がないが、今後そのような機会があれば研修を行い適切な対応ができるようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1			
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。